

【ご使用上に関するお知らせ】

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、豆球にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- 点灯・消灯表示(発光しているもの)機能の付いたスイッチで使用した場合、誤動作することがあります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身での取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

【仕様】

	カタログ番号	型番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	質量
セード	323P2903	69PP-12K4-Z0	—	—	—	—	0.5kg
本体	320X-210W	68XL-04B1-ZW	100V	50/60Hz	43.4W (待機時状態 1W以下)	0.44A	1.4kg
セード	323P2903H	69PP-12K4-ZH	—	—	—	—	0.5kg
本体	320X-210B	68XL-04B1-ZB	100V	50/60Hz	43.4W (待機時状態 1W以下)	0.44A	1.4kg

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
- 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

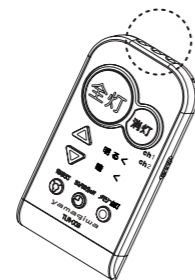
※本品のセードは、北欧の厳選されたパイン材を使用しておりますが、天然素材の生地仕上であるために木目・木肌および色調に多少のばらつきがございます。どうぞご理解頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

※本品の規格および外観は改良のために予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

【お手入れについて】

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- セードのパイン材は、こわれやすい材料です。お取扱いの際は、両手で静かに行なってください。
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- ※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
- ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン送信部

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色、破損の原因となります。



保管用

お客様へ

工事店様へ

この度は、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書」をよくご覧の上、正しく安全にご使用ください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

TO0192-4
LEDペンダント

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。



警告

■取付面

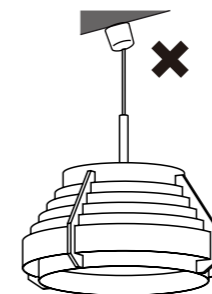
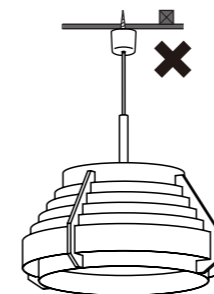
- 次のような場所には取り付けないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

補強のない場所
(ベニヤ板や石こう
ボードなど)

傾斜した場所



禁止



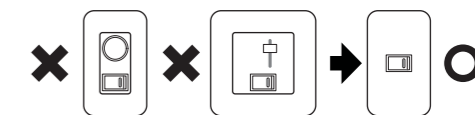
◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です。)

■その他

- 交流100ボルトで使用してください。過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。異常状態が収まったことを確認し、販売店、工事店にご相談ください。



- 器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■配線器具

- 次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止

ガタつきがあるもの
破損しているもの

電源端子
電源端子が
露出しているもの

斜めに
取り付けられたもの

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です。)

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へご連絡ください。部品についてのお問い合わせは「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご相談ください。

<https://www.yamagiwa.co.jp/contact/>

※お電話によるお問い合わせは承っておりません。

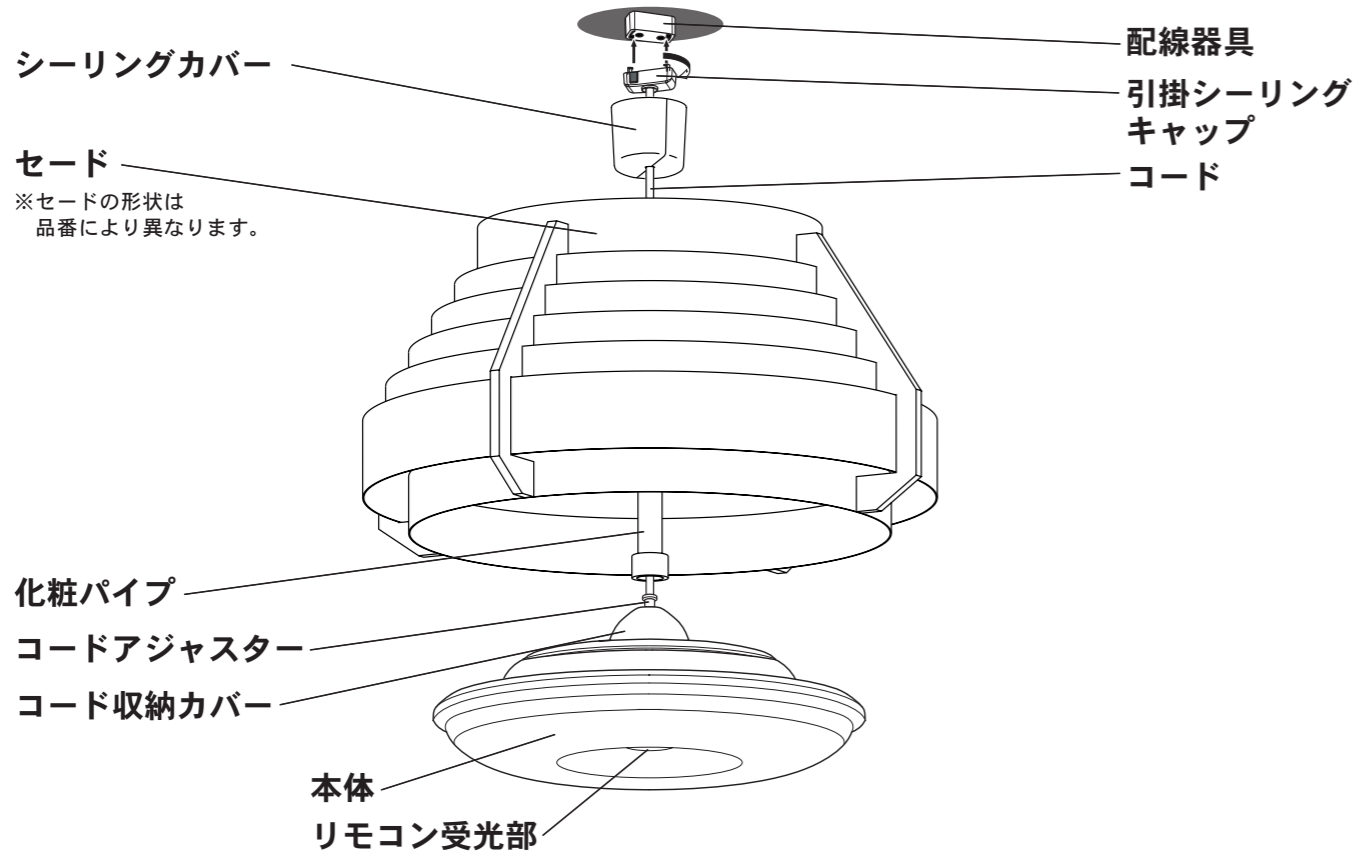


⚠️ 注意

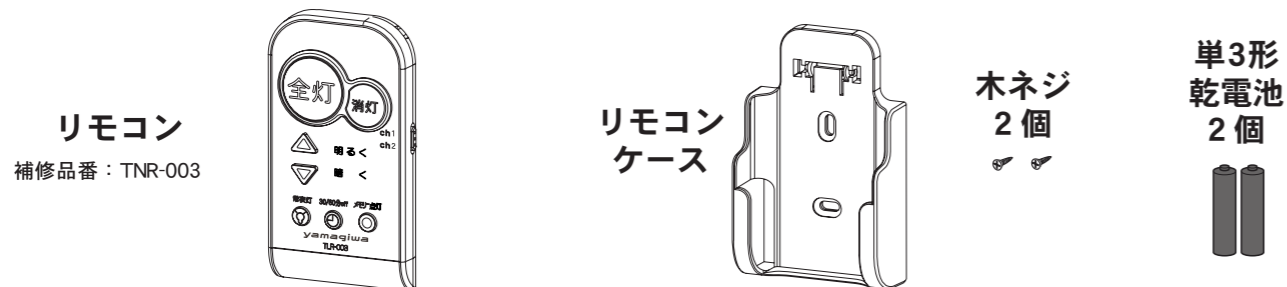
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
 - ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - 付属の梱包材は取り除いて使用してください。
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
 - 取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。
転倒・落下してケガをするおそれがあります。
- セードなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。
◎ 破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。
 - 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。
やけどの原因となることがあります。
◎ お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
 - 浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。
 - 湿度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。
火災の原因となることがあります。
◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。
 - LEDを直視しないでください。
目の痛みの原因となることがあります。

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

【各部のなまえと付属部品】



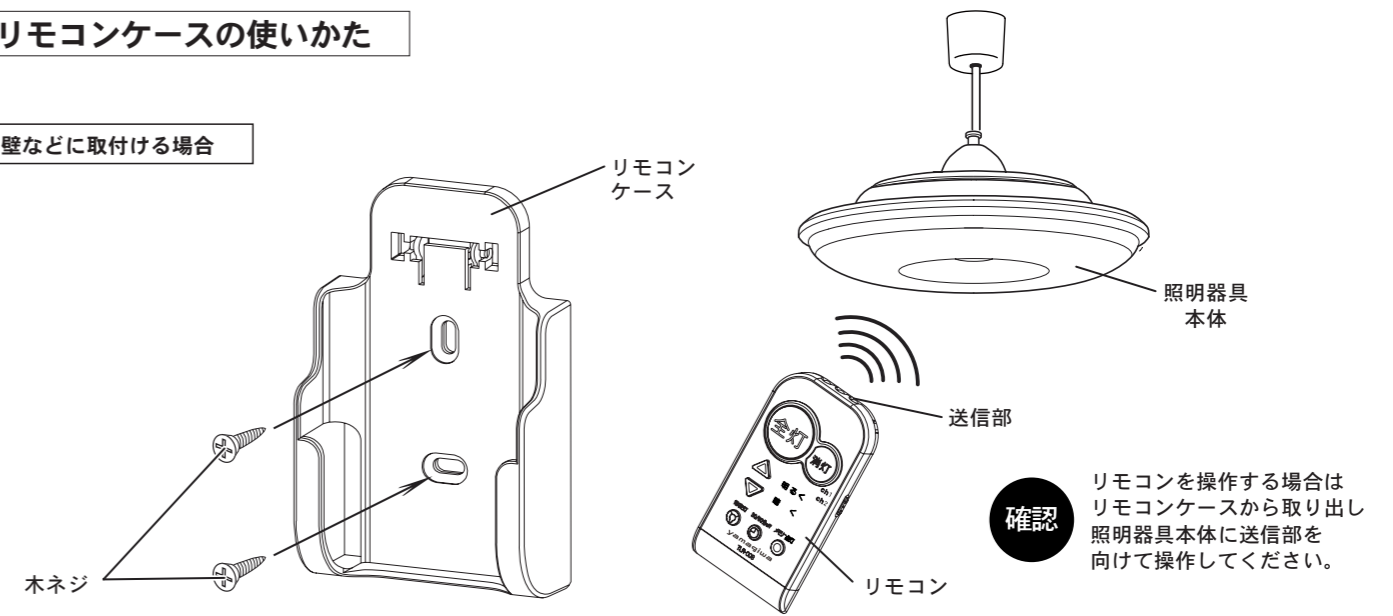
リモコン付属部品



(前ページのつづき)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



【リモコンの便利な使いかた】

2台までのリモコン照明器具を操作する 照明器具のチャンネルを変更できます

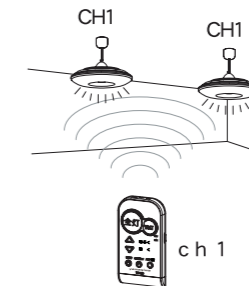
チャンネル設定でできること

● 複数の器具を同時に点灯できます。

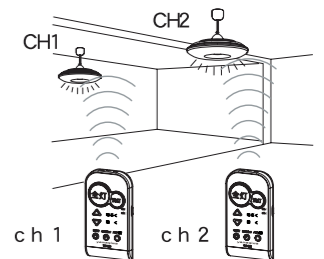
● 近くの器具を別々に点灯できます。

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。
また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



チャンネルの設定方法

- ① 電源が入っている状態でリモコンの「全灯ボタン」を3秒以上押し続ける。
- ② 「ピーピー」とブザーが鳴り本体のチャンネルが変更される。(1だった場合は2へ、2だった場合は1へ)
- ③ リモコンの右側についているチャンネル切り替えスイッチから本体に合わせたチャンネルに変更する。



※チャンネルの初期設定は照明器具本体・リモコンともにチャンネル1に設定されています。

【リモコンについて】

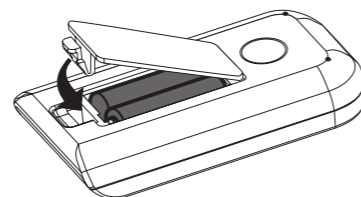
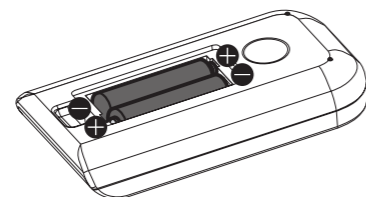
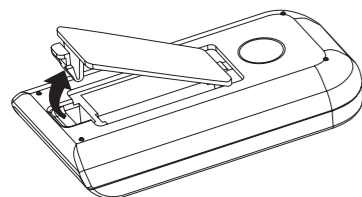
リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

①裏側のカバーをはずす。

②電池の⊕⊖を正しく入れる。

③カバーを取り付ける。



使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンのボタンについて

全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調光ボタン

明るさを調節します。
【調光範囲：100%～約10%まで】

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、明るさを調節します。

【調光範囲：明暗上下5段階】
⇒初期設定：最大の明るさ（5段階）
※常夜灯は調色できません。

消灯ボタン

消灯します。

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさと色合い」で点灯します。ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定（明るさ：100%）
⇒（7ページのLEDの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色合いをワンタッチで点灯させるを参照）

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

常夜灯ボタン操作	常夜灯点灯状態
押す	5段階に順次切り替わる

押すごとに下記の動作を繰り返します



タイマーの解除方法について

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピッ」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

メモリー点灯ボタン操作	ブザー音	点灯状態
押す	ピッ	設定した状態で点灯
長押し（約2秒以上）	ビー	照明器具の点灯状態をメモリー設定

【照明器具を取付ける】



安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。
(一部姿図を省略しております。)

1 天井についている配線器具を確認する。 ※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に下図のような配線器具がついている場合、取り付けできます。

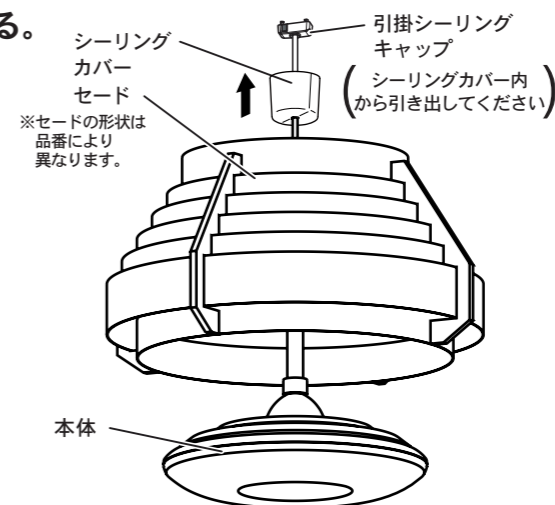
! 下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

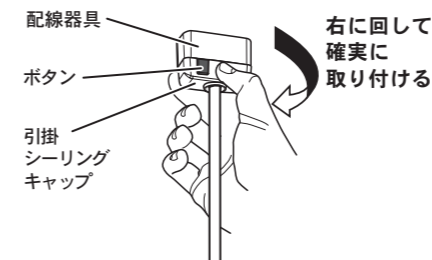


2 本体にセードをのせる。

引掛シーリングキャップをセードに通す。



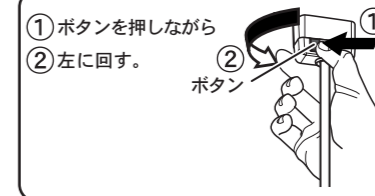
3 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する。



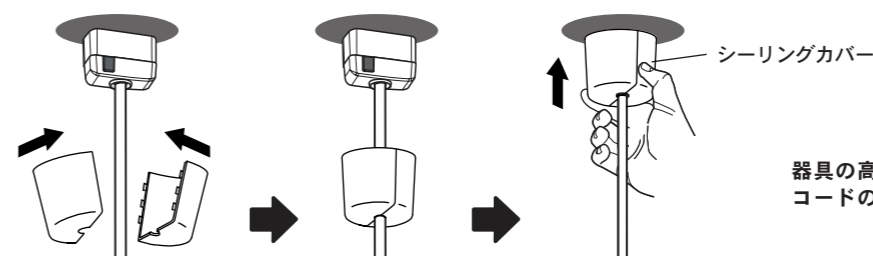
確認

取付け後、ボタンを押さずに左に回して、外れないことを確認する。

取り外しかた



4 シーリングカバーを天井面に押し上げる。



器具の高さを調節する場合は、コードの長さを調節してください

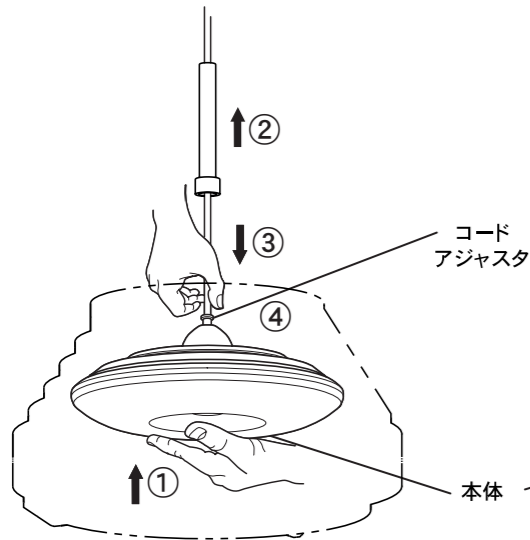
手順 5 参照

(次ページにつづく)

5 コードの長さを調節する。

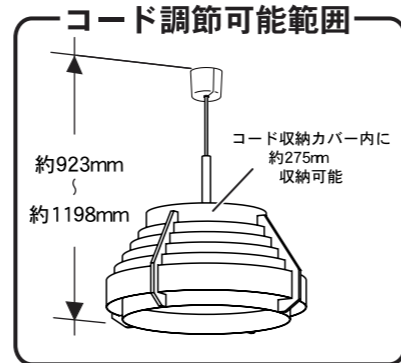
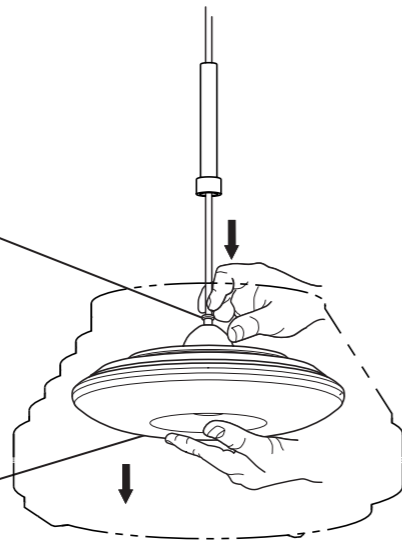
【短くする場合】

- ① 本体を持ち上げながら
- ② 化粧パイプを引き上げる
- ③ 本体内にコードを押し込む。
- ④ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



【長くする場合】

- ① 化粧パイプを引き上げる
- ① コードアジャスタを押さえながら
- ② 本体を引き下げる。
- ③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



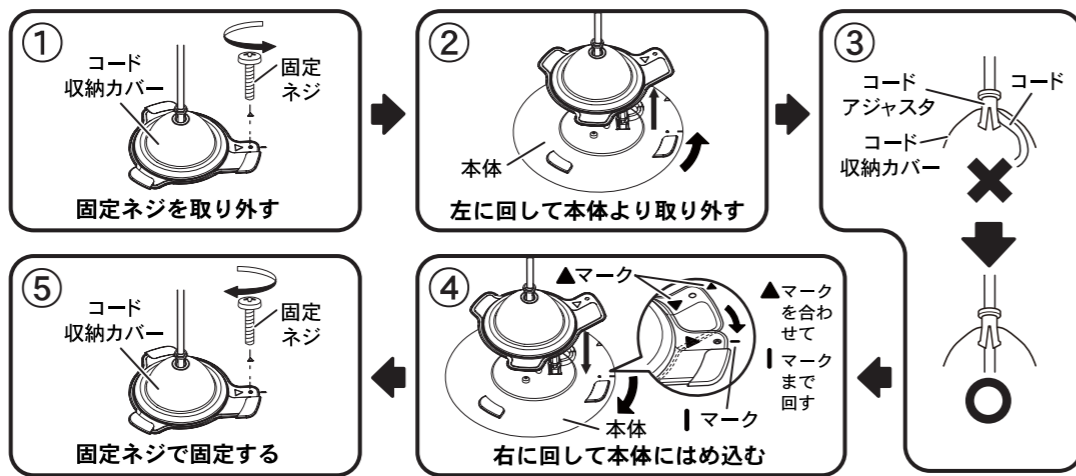
【コード収納カバーから引き出せない場合】

コードの調節ができない場合は、以下の手順でコードの引っ掛かりを直してください。

照明器具を取り外す

- ① 固定ネジをドライバーなどで取り外す。
- ② コード収納カバーを左に回して本体より取り外す。
- ③ コードがコードアジャスタ中央にくるように直す。
- ④ コード収納カバーと本体の ▲ マークを合わせて ↓ マークまで右に回し本体にはめ込む。
- ⑤ 固定ネジで固定する。※取り付けの際、コードをはさまないでください。

照明器具を取り付ける



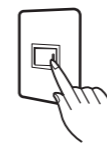
照明器具の取り付け、取り外しについては【照明器具を取り付ける】を参考に行ってください。

【あかりをつける・消す】

壁スイッチで照明器具を操作する

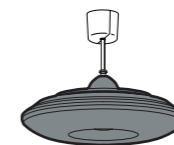
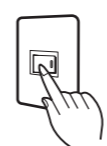
点灯・消灯する

「入」



前回の状態で点灯します。

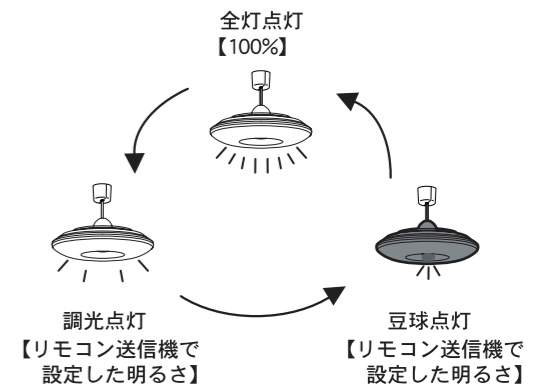
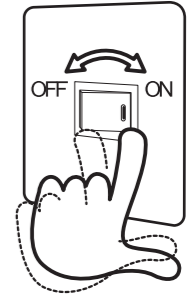
「切」



現在の状態を記憶して消灯します。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF⇄ONと切り替えると次の順に点灯状態が切替わります。



- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF⇄ONと切り替えるか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
- この器具は、リモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。外出などで長期間お使用にならない場合は、壁スイッチをOFFにすることをおすすめします。

● 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

【故障かな?と思ったら】

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。 ⇒5ページ...
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒7ページ...
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒6ページ...
	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。 ⇒6ページ...
勝手に消灯する。	OFFタイマー30分/60分がセットされている。	OFFタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒6ページ...
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒5ページ... リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒5ページ~6ページ...

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、工事店にご相談ください。